



2021年6月1日号

発行 生き生き八王子

Tel/Fax 042-668-1020 E-mail info88@wakaokimie.jp  
http://wakaokimie.jp http://twitter.com/wakao\_kimie

## TOPICS 八王子市議会議員 若尾きみえの活動と市政報告



- ▶ 3月議会予算総括質疑  
今後の産業振興、食と農業の視点から地球温暖化対策、有機農業の推進
- ▶ 生活困窮者への支援策と地域活性化に向け、地域振興券を提案
- ▶ 若尾きみえの提案で実現・前進したこと  
中学校給食センターの生ごみを堆肥化し、子ども達の農業体験に活用



## みんなの心と体と八王子を元気に!



高齢者を対象にコロナワクチンの接種が始まりました。申込み体制の不備のご指摘が多数あり、それを受け私も市に要望書を提出しました。予想を超えるアクセス数で、電話やインターネットの回線がつながらなくなってしまったとのことですが、想定外を想定し、弱い方への配慮や市民の皆さんに負担のないシステムづくりが重要です。その一方で、館ヶ丘団地での、ワクチン接種の申込み支援の活動には、市民の力を感じます。皆さんの知恵をしっかりと行政につないでいきたいと思えます。

市議会議員 若尾 きみえ

## ワクチン接種のリスクコミュニケーションを

ワクチンの情報を知り、自分の体質を把握して、接種の判断をすることが大切です。十分な情報提供と、ワクチンの種類を選択できる接種体制を市に要望しました。

副反応については、東京都が設置する副反応相談センターまでご連絡ください。



\*東京都新型コロナウイルスワクチン副反応相談センター  
Tel. 03-6258-5802 (24時間対応、多言語対応)

## 長崎大学の研究

～発酵食品に含まれるアミノ酸に  
コロナウイルス抑制の効果～



5-ALAという、納豆などの発酵食品に含まれるアミノ酸の成分には、新型コロナウイルスを抑制する強い効果があり、治療薬候補として研究中とのこと。食べ物の中に強い味方があることは朗報です。コロナ禍で、心と体の不調を訴える方が増えています。栄養、運動、睡眠など、バランス良く、日々を過ごしていくことが大切だと感じます。

## 3月議会の予算総括質疑で質問

## I アフターコロナ、八王子市政の未来を見据えて ～新しい時代への産業振興を～

▶ 産業政策では、コロナ禍での企業支援に止まらず、アフターコロナ、持続可能な社会に向け、産業振興をし、雇用の確保や市の財源確保をすることが重要です。

●環境観光都市・八王子に向けて ～観光産業と農業の6次産業化、商業、工業との連携を提案～

日本遺産に登録された八王子の観光では、文化・歴史に加え、農地・山林も観光資源として位置づけ、環境を守りながら、八王子の魅力を発信すること。観光産業と各産業の連携で、お金を落としてもらえる観光施策を進めるよう提案しました。

写真で見る

活動報告



八王子若者総合相談センターの視察



都議会議員両角みのるさんとの街頭演説



幼稚園の食育のための畑の見学



映画いただきます上映会に参加作家・島村奈津さんと



八王子博物館のオープンに向け視察

## Ⅱ 食と農業の視点からの地球温暖化対策を

▶地球温暖化により、気温が上昇し、災害が激化、水不足で、作物が取れなくなれば、食料確保が難しくなります。政府は、2050年に地球温暖化ガス排出量実質ゼロを宣言し、八王子市としても、地球温暖化対策推進計画の見直しが必要です。そこで、今回は食と農業の視点から、地球温暖化対策を提案しました。



### ●農業が地球環境に与える影響

～畜産と森林伐採、化学肥料が温暖化を促進～

食料関係と農業分野から排出される二酸化炭素は、土地利用の変化も含めると30%にもなります。アマゾン川流域では、牛や豚を育てるために、森林が伐採されています。

人類の肉食の需要を満たすために展開されている工業型畜産では、穀物が飼料として使われており、温暖化の要因になっています。しかし、もし、世界中で食生活と生産方法を変えれば、2030年までに温室効果ガス30%が削減可能になるとのことです。食を見直し、食と農業の視点から温暖化対策をしていくことが重要です。

### ●バランスの良い食事で人も地球も健康に

～食育の充実と有機農業の推進を～

学校では、バランスの良い食事の大切さを子どもに教えています。大人も食について知り、過剰な肉の摂取を見直し、**人も地球も健康になれる食生活に変えること。フードロスを**

**見直し、地産地消を進め、温暖化対策になる有機農業を進めていくことが大切です。**

### ●八王子の農業を有機農業にし、学校給食に有機栽培の農産物を

有機農業や子どもの健康について実践研究してきた吉田俊道さんのお話を聞きました。微生物の力でしっかり浄化した堆肥を使うことが、有機農業の成功の鍵とのことでした。

**土作りをしっかりとっている微生物たっぷりの豊かな土壌の野菜には、虫がほとんど付かず、野菜にもいい菌がたくさん付いていて、栄養価も高く、免疫力を上げるとのことです。**

お母さん方からも「学校給食に有機栽培のものを」とご要望を頂いています。八王子の農業を、循環型農業から有機農業へ発展させていくことが大切です。国も有機農業を推進しています。

有機農業の推進を求める私の質問に対し、市からは、**有機栽培は環境負荷の軽減になり、地球温暖化対策等にもつながると認識している。国は2050年までに、農林水産業のCO<sub>2</sub>ゼロエミッション化、化学肥料の使用量30%削減、耕地面積に占める有機農業面積を25%に拡大などうたっており、国の動きを注視し、東京都やJA八王子などの関係団体と連携し、農業者の支援に努めていくとの答弁がありました。**

## コロナ禍での困窮者の支援の充実を

～住居確保給付金の継続と、地域振興券の発行を提案～

私は、生活困窮者への公的支援策として、住宅支援の継続、さらに地域振興券の発行を提案しました。地域経済の活性化と、困窮者への支援を抱き合わせることで、プライバシーも守られ、一石三鳥です。今後は、限られた財源を最大限に生かせるよう、行政の縦割りを越えた取組みが大切だと思います。



### 若尾きみえの提案により実現・前進したこと

### 中学校給食センターから出る生ごみを堆肥化 → 学校で子どもたちの農業体験に活用

\*昨年、中学校の給食センターから出る生ごみの資源化を提案。今年の3月議会の質問では、市から、**給食センターからの生ごみは、八王子バイオマスエコセンターで堆肥化している。堆肥は、学校に配布し、農業体験などに活用していくとの回答があり、前進です。質の高い堆肥を作り、農家にも活用してもらえるよう要望しました。**



あなたのご意見・ご提案をお気軽にお寄せください！

### 生き生き八王子

〒193-0833

八王子市めじろ台3-19-14

E-mail info88@wakaokimie.jp

TEL&FAX 042-668-1020

HP <http://wakaokimie.jp>  若尾きみえ



若尾きみえプロフィール ◆略歴/1964年岡山県生まれ。岡山大学教育学部卒業。岡山市立の幼稚園にて教諭。結婚を機に退職し、その後、仙台市、富山市にて英会話講師。1998年から八王子市散田町の住民、2006年からめじろ台在住。八王子の豊かな自然やよりよい環境を子どもたちに残し、人のつながりの中で元気に暮らせるまちづくりをしていきたいとの思いを強める。2003年市議会議員初当選後、2期活動。2019年市議会議員再選、3期目。無所属。 ◆主な活動実績/八王子市環境基本条例制定に向けて活動。八王子市西南部環境市民会議会員。めじろ台三丁目町会会長・自主防災隊長、地域で高齢者福祉、医療・介護問題や防災について取り組む。赤ちゃんから高齢者まで、みんなが健康で元気になるまちづくりをめざして活動中。まちづくり市民講座代表。八王子未来政策委員。 ◆趣味/柴犬・ガーデニング。音楽鑑賞・陶器。